

正智深谷高等学校特別コラム

Mind Charging

Since 2020

第270回

ルチアーノ・パヴァロッティ

の名言

発行：入試広報室

発行日：令和3年9月6日

編集委員：入試広報室 鈴木



今回の言葉

You don't need any brains to listen
to music.

音楽を聴くのに頭なんて必要ないのさ。

ルチアーノ・パヴァロッティは、イタリアのオペラ歌手。声域はテノール。「神に祝福された声」「キング・オブ・ハイC」「イタリアの国宝」と評された豊かな美声、申し分ない声量、明晰な発音、輝かしい高音が魅力の、20世紀後半を代表するオペラ歌手の1人。プラシド・ドミンゴ、ホセ・カレーラスと共に三大テノールとしても知られる。

Column

以前このコラムでも紹介した武道家や俳優として有名な『ブルース・リー』が残した“Don't think, feel. (考えるな、感じろ)”という名言が思い出されるような、魂に訴えかけるような言葉です。もちろん本当に頭で感じる必要がないということではないとは思いますが、“たまには理屈なんて考えずに自分の心に従ってみませんか？”という優しさに溢れたメッセージだと私は感じました。

音楽、絵画、映画など、様々なジャンルにおける優れた芸術作品は『感動』を呼びます。今回挙げた3つの中で私が最も好きなものは音楽で、好きな楽曲の何が素晴らしく感じるかを考えると、素敵なメロディに心が落ち着くことや、そんなメロディに乗せた歌詞に共感できることだと思います。また、懐かしい楽曲を久しぶりに耳にすると、その当時の情景や自分のことなどを思い出し、『また頑張ろう』という気持ちにさせてくれます。そんな素晴らしい楽曲の中でも、今回の言葉のように頭（意識）に関係なく、音楽に対して“勝手に体が反応する”という前奏を聴いただけで涙が溢れそうになるようなものもあります。今回の言葉を知ること、その楽曲の存在を思い出しました。

例えば、正智深谷高校の近くには深谷駅があります。通学に利用している人も多いと思います。鉄道ファンからすると、電車の走る音は音楽に聞こえるでしょう。様々なモデルの車両があることから、その一台一台がひとつの作品に見えるでしょう。乗客それぞれにそれぞれの一日があり、良いことがあって早く帰って家族に報告したいと思っている人もいれば、うまくいかないことがあって解決策を電車に乗りながら考えている人もいるかもしれません。様々な一日を過ごした様々な人々が同じ乗り物に乗って同じ方向に進む。まるで映画のワンシーンのようです。芸術に限らず私たちの目の前にある全てのことは捉え方次第で如何様にも変わるものなのかもしれません。時には目を閉じて感性に頼った方がよく見えるものもあるのかもしれないね。